

(2) 保育学科

ア 教育の目標

- ・保育に関する専門的知識や技能とともに、感性や人間性を磨き、コミュニケーション能力や表現力、創造力、実践力を身につけます。
- ・乳幼児の保育とともに、児童や障がい者の支援、保護者の育児相談や地域の子育て支援など、多様なニーズに対応できる課題解決力を身につけます。

イ 教育課程及び担当教員

前述の教育の目標やカリキュラム・ポリシーを踏まえ、教養教育科目、専門教育科目で構成された科目群から系統的・計画的に選択できる教育課程を用意しています。保育学科における授業科目、単位数、授業形態、開講期、資格別科目、担当教員等は、次々ページのとおりで。

ウ 卒業要件

保育学科の卒業資格を得るには、所定の修業年限（2年）を終え、必修科目及び次に示す最低単位数を、各科目群についてそれぞれ修得する必要があります。

科目群		最低修得単位数	
教養教育科目	社会・文化		10 単位
	データサイエンス		
	キャリア支援	「情報処理」、「文書表現基礎」4 単位	
	外国語	「英語コミュニケーション」2 単位	
	スポーツ・健康	「体育（講義）」、「体育（実技）」2 単位	
専門教育科目		「保育者入門セミナーⅠ」、「保育者入門セミナーⅡ」、「教育原理Ⅰ」、「教育原理Ⅱ」、「社会福祉」、「保育者論」、「教育課程論・保育の計画と評価」、「健康の指導法」、「人間関係の指導法」、「環境の指導法」、「言葉の指導法」、「表現の指導法（音楽Ⅰ）」、「表現の指導法（造形Ⅰ）」、「保育内容の理解と方法・表現Ⅰ」、「保育内容の理解と方法・音楽Ⅰ」、「保育内容の理解と方法・造形Ⅰ」、「保育内容の理解と方法・言葉」、「音楽基礎」、「子ども総合研究Ⅰ」23 単位	46 単位
修得単位数の合計		62 単位	

エ 単位認定について

- (ア) 単位の認定には、既定の授業回数（通常 15 回）の 3 分の 2 以上の授業に出席する必要があります。
- (イ) 成績の評価は、講義概要（シラバス）記載の成績評価基準に基づいて行われます。レポートや作品などの提出物を授業担当者指定の期日までに提出しない、試験（小テストなどを含む）を受けないなどの場合は、単位が認定されない場合があります。
- (ウ) 授業科目ごとに定める履修条件や受講にあたっての注意事項などを守らない場合は単位の認定はできません。
- (エ) 実習に関する単位認定については、別に定める「実習単位認定規程」に沿って行います。

オ 実習参加要件

見学実習を含む学外での実習については、別に定める「実習参加要件」を満たしている必要があります。

カ 欠席時の手続きについて

欠席した場合は、その理由を欠席から2週間以内（学期末の場合は、定期試験期間が終了するまで）に授業担当教員及び学生部に届け出てください。詳細は、本冊子「欠席等の取り扱い（34 ページ）」を参照してください。

科目区分			保育学科		単位数	形態	卒業要件		開講期及び時間数								免許・資格				担当教員	備考
			科目名	必修			選択	1年次				2年次				幼稚園教諭	保育士	リトミック1級	リトミック2級			
								前期		後期		前期		後期								
								単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間							
教養教育科目	社会・文化	日本国憲法	2	講		○							2	2	◎	○			香川			
		知的財産法入門	2	講		○							2	2					長田			
		文学	2	講		○							2	2					久保田			
	データサイエンス	暮らしのなかの科学	2	講		○					2	2							藤村・山田			
		キャリア支援	情報処理	2	講	○			2	2						◎	○			山本瑞		
			文書表現基礎	2	講	○			2	2							○			久保田		
	進路研究		2	講		○						1	2	1		○			永田 他			
	外国語	英語コミュニケーション	2	演	○								2	2	◎	◎			パーキン			
		スポーツ・健康	体育（講義）	1	講	○							1	1	◎	◎			原井			
			体育（実技）	1	技	○				1	2					◎	◎			吉野		
専門教育科目	保育者入門セミナーⅠ	1	講	○			1	2							○			山本朗・森下 他				
	保育者入門セミナーⅡ	1	講	○					1	2					○			山本朗・森下 他				
	保育原理	2	講		○			2	2						◎			野村				
	教育原理Ⅰ	1	講	○			1	1						◎	◎			山本朗				
	教育原理Ⅱ	1	講	○			1	1						◎	◎			山本朗				
	子ども家庭福祉	2	講		○					2	2				◎			松村				
	社会福祉	2	講	○			2	2							◎			佐藤真				
	子育て支援	1	演		○					1	2				◎			今川晋				
	社会的養護Ⅰ	2	講		○					2	2				◎			川村				
	保育者論	2	講	○			2	2						◎	◎			弘中				
	保育・教育の心理学	2	講		○			2	2					◎	◎			上村				
	子ども家庭支援の心理学	2	講		○		2	2							◎			上村				
	子どもの理解と援助	1	演		○							1	2		◎			上村				
	子どもの保健	2	講		○			2	2						◎			松尾				
	子どもの健康と安全	1	演		○					1	2				◎			三浦				
	子どもの食と栄養	2	演		○							2	2		◎			白土				
	子ども家庭支援論	2	講		○			2	2						◎			今川晋				
	保育内容総論	1	演		○							1	2		◎			山下				
	教育課程論・保育の計画と評価	2	講	○				2	2					◎	◎			山本朗				
	健康の指導法	1	演	○						1	2			◎	◎			船場・吉野				
	人間関係の指導法	1	演	○				1	2					◎	◎			富田				
	環境の指導法	1	演	○						1	2			◎	◎			富田				
	言葉の指導法	1	演	○				1	2					◎	◎			野村				
	表現の指導法（音楽Ⅰ）	1	演	○				1	2					◎	○			永田				
	表現の指導法（音楽Ⅱ）	1	演		○					1	2			◎	○			永田				
	表現の指導法（造形Ⅰ）	1	演	○			1	2						◎	◎			森下・難波				
	表現の指導法（造形Ⅱ）	1	演		○			1	2					◎	○			森下・難波				
	表現の指導法（造形Ⅲ）	1	演		○					1	2				○			弘中				
	表現の指導法（造形Ⅳ）	1	演		○							1	2		○			弘中				
	保育方法論	2	講		○					2	2			◎	○			中原				
	保育リトミックⅠ	1	演		○					1	2				○		◎	植山				
	保育リトミックⅡ	1	演		○							1	2		○	◎		植山				
	乳児保育Ⅰ	2	講		○		2	2							◎			今川久				
	乳児保育Ⅱ	1	演		○			1	2						◎			今川久				

専門 教育 科目	特別支援の保育・教育概論	2	演		○					2	2			◎	◎		岡本	
	社会的養護Ⅱ	1	演		○							1	2		◎		川村	
	幼児理解と教育相談	2	講		○							2	2	◎			上村	
	保育内容の理解と方法・健康	1	演		○	1	2							○	○		船場・原井	
	保育内容の理解と方法・人間関係	1	演		○	1	2							◎	◎		富田	
	保育内容の理解と方法・環境	1	演		○		1	2						◎	◎		富田	
	保育内容の理解と方法・表現Ⅰ	1	演	○		1	2							◎	◎		永田・森下・杉山	
	保育内容の理解と方法・表現Ⅱ	1	演		○							1	2	○	○		永田・森下・杉山	
	保育内容の理解と方法・音楽Ⅰ	1	演	○		1	2								○		杉山・大筋・井上	
	保育内容の理解と方法・音楽Ⅱ	1	演		○		1	2							○		杉山・大筋・井上	
	保育内容の理解と方法・造形Ⅰ	1	演	○			1	2							○		難波	
	保育内容の理解と方法・造形Ⅱ	1	演		○				1	2					○		難波	
	保育内容の理解と方法・言葉	1	演	○		1	2							◎	◎		野村	
	音楽基礎	1	演	○			2	1	2								永田・刀根・井上・鳥越	
	保育ピアノⅠ	1	演		○	1	2									◎		
	保育ピアノⅡ	1	演		○		1	2							◎		杉山他（中山・桑原・吉村・大筋・三輪・高橋・刀根・井上・岡本・鳥越）	
	保育ピアノⅢ	1	演		○				1	2								
	保育ピアノⅣ	1	演		○					1	2							
	子ども総合研究Ⅰ	2	演	○					2	4							山田・森下・山本朗・永田・難波・船場・杉山・上村	
	子ども総合研究Ⅱ	2	演		○						2	4						
	保育実習指導Ⅰ	2	演		○	0	1	0	1	0	1	2	1		◎		杉山・難波	
	保育実習Ⅰ	4	実		○				*	*	*	4	*		◎		杉山・難波	
	保育実習指導Ⅱ	1	演		○					0	1	1	1		○		杉山	
	保育実習Ⅱ	2	実		○					*	*	2	*		○		杉山	
	保育実習指導Ⅲ	1	演		○					0	1	1	1		○		難波	
	保育実習Ⅲ	2	実		○					*	*	2	*		○		難波	
	教育実習指導	1	講		○					0	1	1	1	◎			山田・森下・上村他	
	教育実習	4	実		○					*	*	4	*	◎			山田・森下・上村他	
	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	演		○							2	2	◎	◎		山田・山本朗他	

注1. 形態欄の「講」は講義、「演」は演習、「技」は技、「実」は実習を表します。

注2. 資格を取得するための科目として、◎は必修、○は選択必修を表します。

注3. 資格の欄の「幼稚園教諭」は「幼稚園教諭二種免許状」、「リトミック1級」は「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格1級」、「リトミック2級」は「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級」を表します。

注4. 実習系科目の*は実習時期を表します。単位は*の期を含め後の期に示します。

注5. 諸事情により担当教員が変更になることがあります。また、受講者が一定数に達しない授業科目は、不開講になることがあります。

VIII 免許・資格

本学において取得できる免許・資格は次のとおりです。

I. 保育学科

(I) 幼稚園教諭二種免許状

教員養成の目的・目標

保育や教育は、人の育ちを支援する営みであることを踏まえ、他者と連携しながら課題解決に主体的に取り組み、地域社会から真に求められる保育者の養成を目的としています。

この目的を達成するために、下記の2点を教育の目標としています。

- ・保育に関する専門的知識や技能とともに、感性や人間性を磨き、コミュニケーション能力や表現力、創造力、実践力を身につけます。
- ・乳幼児の保育とともに、児童や障がい者の支援、保護者の育児相談や地域の子育て支援など、多様なニーズに対応できる課題解決力を身につけます。

幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、卒業資格を得るとともに、次に示す科目についてそれぞれ所定の単位を修得する必要があります。

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	
		66条の6	教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	8	31

注「短期大学士の学位を有すること」とは、短期大学を卒業することが条件です。このため、免許状を取得するためには、この表の単位のほか卒業に必要な単位を修得しなければなりません。

ア 免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する本学開設授業科目		
科目	単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	体育（講義） 体育（実技）	1 1	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理	2	
計	8	計	8	0

イ 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目		
教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	12	保育内容の理解と方法・健康		1
			保育内容の理解と方法・人間関係	1	
			保育内容の理解と方法・環境	1	
			保育内容の理解と方法・言葉	1	
			保育内容の理解と方法・表現Ⅰ	1	
			保育内容の理解と方法・表現Ⅱ		1
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		健康の指導法	1	
		人間関係の指導法	1		
		環境の指導法	1		
		言葉の指導法	1		
		表現の指導法（音楽Ⅰ）	1		
		表現の指導法（音楽Ⅱ）	1		
		表現の指導法（造形Ⅰ）	1		
			表現の指導法（造形Ⅱ）	1	
			小 計	12	2
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理Ⅰ	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育原理Ⅱ	1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育・教育の心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援の保育・教育概論	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論・保育の計画と評価	2	
			小 計	10	0
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論	2	
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解と教育相談	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
			小 計	4	0

教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導 教育実習	1 4	
			小計	5	0
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	
			小計	2	0
大学が独自に設定する科目		2			
計		31	計	33	2

※1 幼稚園教育実習に関して必要な事項は、別に実習の手引きに定めている。

※2 「大学が独自に設定する科目」の2単位は、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の最低単位数を超えて修得した単位数の合計が2単位以上であることを示す。

(2) 保育士資格

保育士資格を取得しようとする者は、卒業資格を得るとともに、児童福祉法施行規則に基づき、次に示す科目についてそれぞれ所定の単位を修得する必要があります。

基礎資格	最低修得単位数		
	教養科目	必修科目 (告示別表第1)	選択必修科目 (告示別表第2)
都道府県知事の指定する保育士を養成する学校その他の施設を卒業した者	8	51	9

ア 教養科目（教養教育科目）

8単位以上（うち英語コミュニケーション2単位及び体育に関する講義及び実技それぞれ1単位、これら以外の科目 4単位以上）の修得が必要です。

厚生労働省告示第198号 による教科目			本学における開設授業科目			
系列	教科目	最低 修得 単位数	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	単位数	
					必修	選択
教養科目	外国語、体育 以外の科目	8	情報処理 日本国憲法 文書表現基礎 進路研究	講義 講義 講義 講義		2 2 2 2
	外国語		英語コミュニケーション	演習	2	
	体育		体育（講義） 体育（実技）	講義 実技	1 1	
	計	8	計		4	8